

保育自己評価表（令和5年度）

<目的>

保育所の役割や社会的責任を遂行するために、法令等を遵守し、保育所を取り巻く社会情勢などを踏まえ、その専門性の向上に努め、保育所の望ましい管理運営をするため、今年度の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画にいかす。

<保育方針・保育理念・目標について>

内容		反省・評価
1	理念や保育方針が職員に周知されている。	園の保育方針は職員全員が理解しており、担当は各年齢の発達段階や個別性を踏まえた指導計画を作成・実施・評価している
2	保育方針や目標に基づいて、クラスの年間目標を立てている。	
3	子ども一人一人の主体性を大切にされた保育をしている。	
4	各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢、個々の発達に留意した指導計画を作成している。	
5	保育者は自らの保育実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めている。	

<保育内容について>

内容		反省・評価
1	子どもの発達過程やその連続性を踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう、必要な事項に配慮し、保育を行っている。	日々の保育では、一人一人の個別性を踏まえ保育を実施しており、子どもの話をよく聞き、信頼関係を築いていっている。 園内清掃およびおもちゃ等の消毒。保育室の整理整頓等はきちんとされており、安全で衛生的な環境になっている。 行事は、個々の保育士のこれまでの経験をもとに計画・実施した。次年度は今年度の反省をもとに計画・実施していく。情報共有は毎日行いながら保育を実施できている。
2	一人一人の思いを受け止め、その思いを出来るだけ実現させようと努めている。	
3	子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築いている。	
4	子ども達が日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている。	
5	身体的、精神的、情緒的発育や家庭環境および食事習慣など、総合的に多面的に子どもの状態を把握している。	
6	保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心掛けている。	
7	行事については、以前実施した際の計画を確認し、過去の反省や評価を反映している。	
8	職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで、保育を行っている。	

<保育所の組織・役割分担について>

内容		反省・評価
1	豊かな集団の育成を目指したクラス経営が進められ、各クラスの連携が円滑に行われている。	クラス運営は、各担当が責任をもって実施しており、主任保育士を中心に各クラスの連絡調整を行っている。研修は計画的に実施し、報告書の提出を義務化している。職員間の報告・連絡・相談が行えていたため、次年度も今年度のような体制を取っていく。職員会議は御宿台こども園との合同で行い、事前に簡潔に資料をまとめている。火災・地震の避難訓練は毎月行い、避難だけでなく、水消火器による消火訓練も実施している。
2	研修への参加は積極的に行い、専門職としての知識やスキルの向上に取り組んでいる。	
3	研修で得た内容・成果は研修報告書を基に職員全員に伝達し、共有している。	
4	職員間で報告・連絡・相談の体制が機能している。	
5	保育をよくしたり、業務の効率化を図ったりするような提案が出されている。	
6	各職員が任せられている仕事は責任感を持ってこなしている。	
7	各職員が職員会議等で必要と思う質問や意見を発言することが出来ている。	
8	火災・地震・不審者侵入等の危機管理に努めている。	

<保護者対応・情報について>

内容		反省・評価
1	保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心掛けている。	行事や園での対応等、必要に応じて、ICTシステム（コドモン）で保護者にアンケートの実施を行い、保護者の意見を確認し、その結果を反映するよう努力している。。
2	送迎時に子どもの姿を保護者に伝えている。	
3	保護者に子どもの伸びているところや課題を伝える事を行っている	
4	園だより、保健だより等で必要なことを伝えている。また保護者に子どもの日常の生活がわかるよう情報を発信している	
5	地域や保護者の意見を保育などに反映している。	

<事務処理・運用について>

内容		反省・評価
1	個人情報など掲載されている書類については厳重に管理し保管されている。	書類の管理は出来ている。財務に関しては、公認会計士の指導を基に運営している。
2	園内で知りえた情報の守秘義務は徹底できている。	
3	財務管理は適切に行えている。	